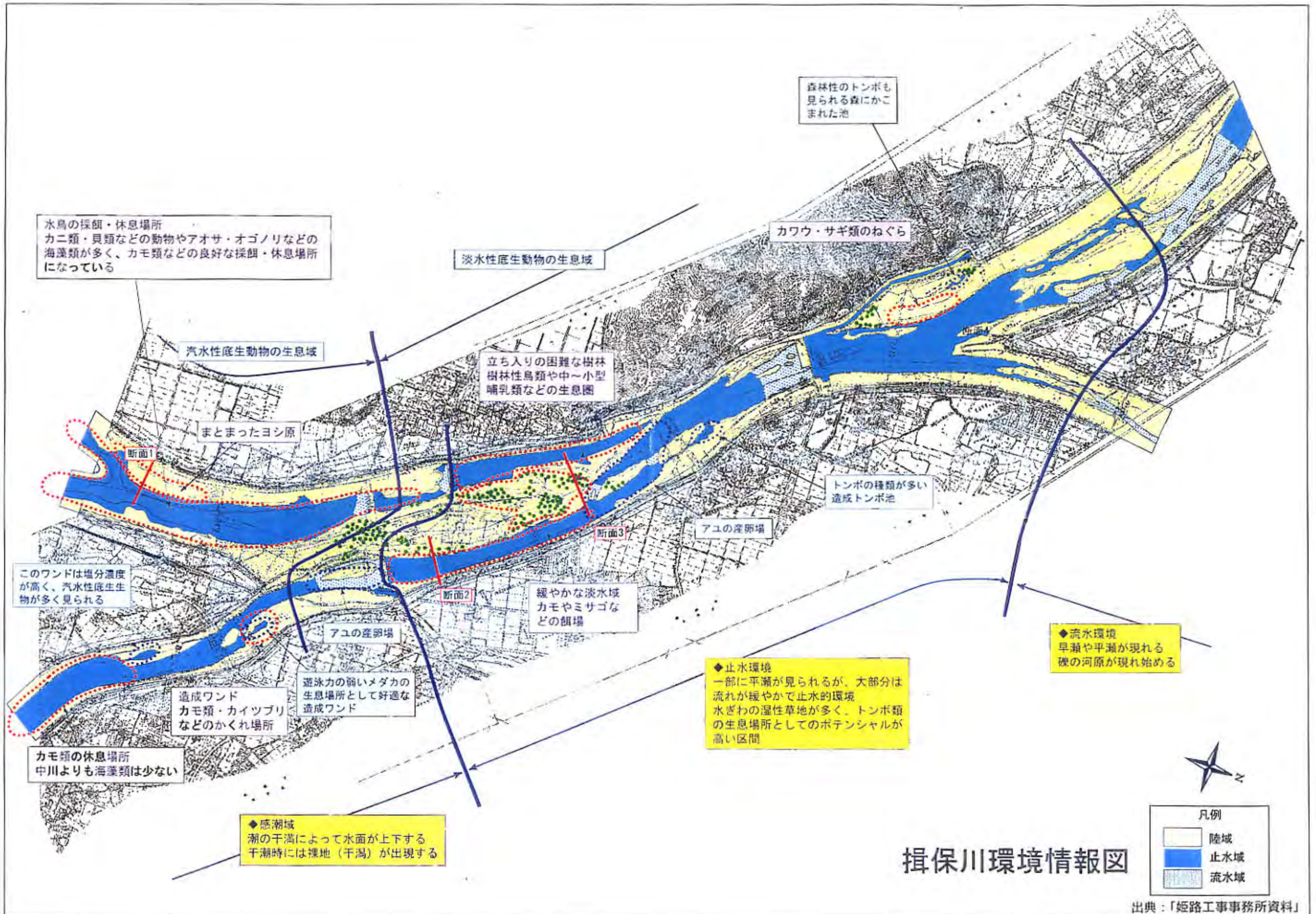
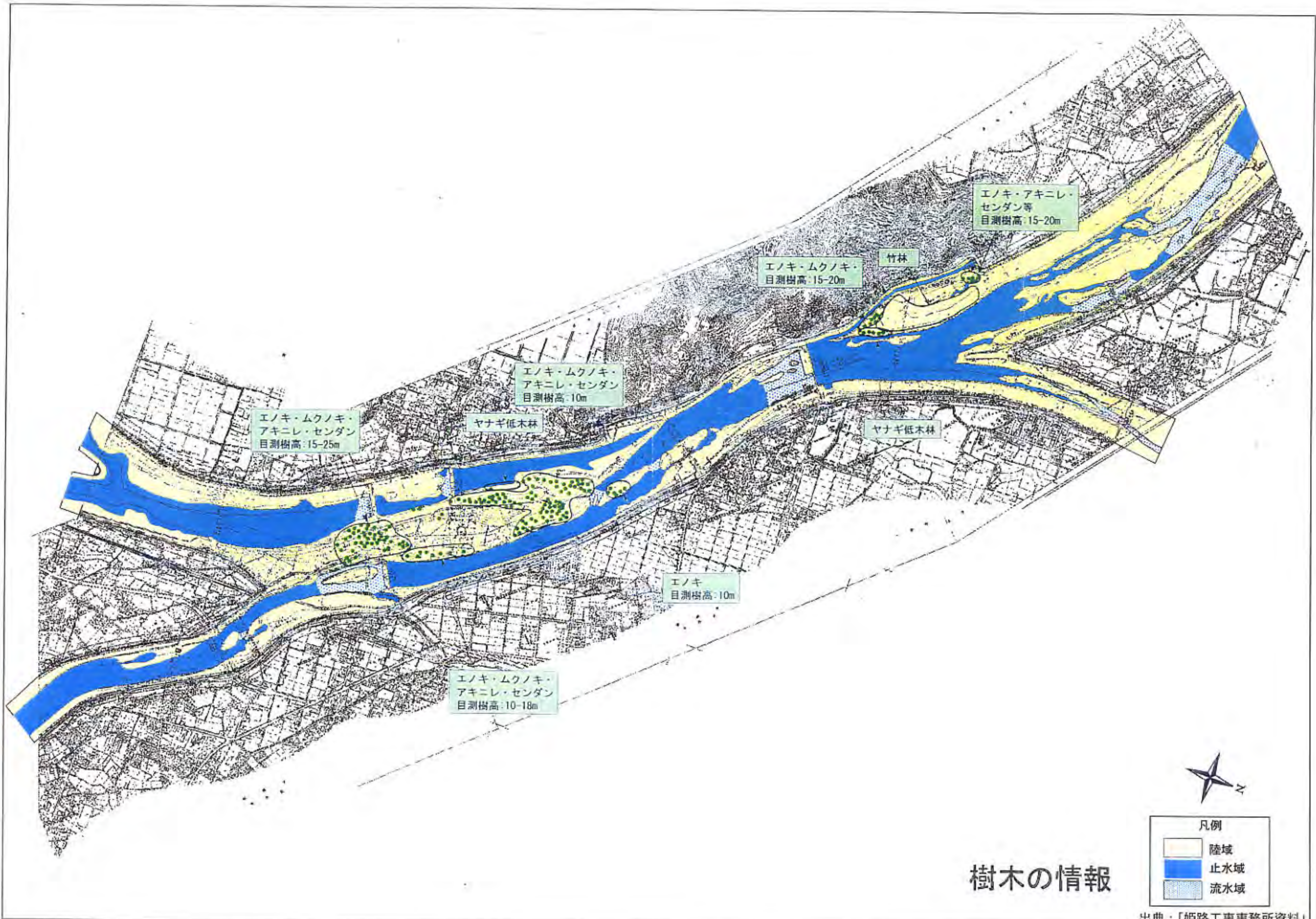


# 三川分派地区







出典:「姫路工事事務所資料」



## 三川分派地区の環境整備

三川分派地区には、揖保川の上流から下流の自然環境が凝縮されている



### 上流域の特性

三川分派地区の中州にみられるエノキ林は、エノキ林本来の様相を呈する非常に稀な自然林である。照葉樹林が優勢な暖帯に成立しているにもかかわらず、このエノキ林ではトチノキ、ハウチワカエデなど温帯性の樹種も出現している。  
これは、上流から河道を伝って種子が供給されてきたもので、赤西渓谷や福地渓谷など自然豊かなブナ林（温帯）を源流部を持つという地理条件に由来している。



エノキ林

### 中流域の特性

揖保川中流域の砂礫地には、カワラヨモギ群落、その背後にオギ群落が発達しており、河川の特徴的な環境を形成している。三川分派地区では、近年の攪乱頻度の減少でこのような川原が減少し安定化傾向にあるものの、このような揖保川中流域から下流域の環境を呈している。



カワラヨモギ群落

### 下流域の特性

三川分派地区は揖保川の汽水域の上流端にあたる感潮域であるため、淡水性の生物だけでなく汽水性の生物も見られる。干満による水位、塩分濃度の変化が、それらに適応する種が生息できる特異な環境を形成している。このような環境には、シギ・チドリといった鳥類や、マハゼ、ヌマチチブ、エビ・カニ類等が見られる。



干潟



# 検討方針

